

## 2016年A B A C第4回リマ会議ニュースリリース【仮訳】

リマ

2016年11月16日

APEC 首脳に対し、すべての人が確実に経済統合の恩恵を受けるよう要望

保護貿易主義と国内志向政策に引きこもることは、この地域が直面する経済問題に対して何らの解決策とはならない—A P E C ビジネス諮問委員会（A B A C : APEC Business Advisory Council）のためリマに集結した経済界のリーダーたちは昨日そう語った。

「地域経済統合は、よりよく機能し、その利益がより明白となるように構築され得る。各政府が自国・地域の経済能力を拡大する政策をとれば、それぞれの地域社会や人々は、より開かれて競争力のある市場を一層上手に活用することができるようになる。」

「貿易と投資のこれ以上の自由化が進むことについて、その影響を懸念する市民の声が高まりつつある現状に直面し、多くの政府が新たな関税や非関税障壁を設けるのではないかと経済界のリーダーたちは憂慮している。」と 2016 年 A B A C 議長のフアン・ラフォー氏は述べた。「保護主義的行動は、ビジネスがこの地域において雇用を創出し、生活水準を向上させるための一翼を担うことを困難にする。」とラフォー氏は話した。

「英国の EU 離脱と、先進および開発途上双方の国・地域における最近の選挙結果は、経済統合の価値を問う国民投票としての意味を有するように見える。それらにより、グローバル経済の方向が、かつてないほど不確実になった。また、急速な成長と世界中への繁栄の普及に貢献してきた経済統合の成功モデルに対して、疑問を投げ掛けているように思われる。」とラフォー氏は付け加えた。

「われわれは、経済統合が繁栄の拡大と直接的につながっていること、そして開かれたマーケットは—新たなテクノロジーとビジネス手法により強化されることで—何百万もの人々を貧困から引き上げてきたことを一般市民が確信するよう、さらに取り組む必要があることを認める。しかしその一方で、すべての人がその恩恵を公平に受けてきたわけではなく、多くの人を取り残されているように感じていることも、われわれは知っている。社会的セーフティネットが、新たな環境に適応するにあたっての一時的な救済・支援を提供するのに対して、より長期的かつ恒久的にあらゆる悪影響に対応し得るのは、構造的な経済改革である。」

「健全な政策と規制の質は、ビジネスが、その規模の大小に関わらず、より開かれた貿易と投資が創出するすべての機会を最大限に活用する能力を高める。さらに、サービス分野にお

けるような新たな成長の源泉を促進し、生産性を向上させ、社会のすべての分野に利益をもたらすイノベーションを促進する。」とラフォー氏は語った。

「2004年以來われわれは、質が高く、包括的で、野心的なアジア太平洋自由貿易圏（F T A A P : Free Trade Area of the Asia-Pacific）を、各国・地域内のみならず、国境を跨いだ構造改革をも達成する手段として、促進してきた。そのため、F T A A Pへの道筋一環太平洋パートナーシップ（T P P : Trans Pacific Partnership）協定についてはその批准、東アジア地域包括的経済連携（R C E P : Regional Comprehensive Economic Partnership）については交渉妥結一の進展が減速していることに落胆している。」とラフォー氏は述べた。

「われわれは、しかしながら、A P E Cの『F T A A Pの実現に関連する課題にかかる共同の戦略的研究』が完了したことを心強く思う。それにより、A P E CはF T A A Pに関して、将来のスケジュールとさらなる具体的な活動を伴う、一定の野心的な目標を設定することになる。」

A B A Cは、すべてのA P E C参加国・地域において起業家精神と雇用を促進するにあたっての中小企業の役割を、常に大変重視してきた。零細・中小企業（M S M E : micro, small and medium enterprises）によるグローバル市場への参画を拡大することは、質の高い成長を達成し、より多くの雇用を生み出すとともに、グローバル化の利点を強調することに資する。A B A Cは、M S M Eがグローバル市場や新技術およびファイナンスに対してアクセスし易くするための多くのイニシアティブとともに、女性や若者の活躍促進策についても首脳に披露する。

サービス部門は、A P E Cにおける雇用（46%）および産出額（70%）の唯一最大の貢献部門であるだけでなく、非常に多くのM S M Eや女性の参画をもたらしている。A B A Cは、サービス部門の発展に貢献し、ビジネスモデルの劇的な変化にも遅れを取らない、より高い次元での、一貫性、透明性および効率性を備えた規制環境の重要性について、首脳と議論を行う。

さらにA B A Cは、コネクティビティ、特にデジタル経済の変革を引き起こす効果とそのA P E C地域におけるG D P成長への貢献に関する議論を、首脳と行う。A B A Cは、各国・地域によるデジタル戦略の導入が、包摂的な成長に貢献し得ることを認識している。しかしその一方で、インフラ需要やキャパシティ・ビルディングならびに能力・技能の開発・向上に取り組む努力もなされなければならない。

A B A C委員たちはまた、持続可能な発展の促進や、食料安全保障、より大きく強靱で包括的な金融市場の構築—それらはすべて持続可能であまねく広がる地域成長の基礎となる—についての、自分たちの細目にわたる提言に関して、首脳と議論を行う予定である、とラフォー氏は結んだ。